

H30年4月 沼田学園開園に向けて

～沼田ならではの新たな教育スタイル～

生涯
学習

ゆめ
つくる

◎小・中学校の目標

「自ら進んで考え、学び合う児童生徒を育成しよう」

小・中教師が、「アクティブラーニングの学び」に注目し、今まで以上に、「めざす沼田っ子像」、「めざす授業像」を共有しあい、9年間一貫・連携した授業づくりを進めています。

※アクティブラーニングとは子ども達の「主体的・対話的で深い学び」を示します。

1 9/22 教育講演会（札幌恵友会 石垣則昭氏）のお話から

(1) 教師の※エンパワーメントを考えよう。

※エンパワーメントとは？一人ひとりが、発展や改革に必要な力をつけること

(2) これからのカリキュラムデザインを描こう。



疋田小学校長

主体的・多様性・協同性・学ぼうとする力、どのように社会と関わりより良い人生を送るのか

子どもの人間力を育成する



小川中学校長

主体的・対話的で深い学び
(アクティブラーニング)

何を知っている」から
「何ができるか？」に気づく

知っているだけでなく、
できることをどう使うのか？

(3) 学習指導の変換

自分達でつかむグループ学習（例）

①一人で考える→②集団（グループ）で話し合う→③最後に一人でまとめる

★集団で話し合ってもわからない時に、先生がヒントを教える。

★子どもが助けを求めている場合は声をかけない。

★美味しいところを先生はとらない。子どもの出番を作る。



小6 社会の発表の一コマ

(4) 学びのルールを押さえ(例)

★先生は

- ①授業の始まり →みんなで前回の学習をふりかえさせる
- ②今日の課題 →子どもの側に立って学習課題をとらえさせる
- ③一人で考えさせる →順番に発言させる
→学んだことを順番に発表させる
- ④ふりかえりの重要性→今日の反省と次回へのやる気UP!

★グループ学習では

- ①人の話はじっくり聞く
- ②分からなければまず自分で考える
- ③分からなければ分からないと言う
- ④分からないことは「教えて」と言い
教えてもらう
- ⑤「教えて」と言われたら分かるまで
教える
- ⑥お互いに「ありがとう」を言う

沼田学園は、小・中の教師が、力を合わせて「自ら進んで考え、学び合う児童生徒の育成」に努めます。